

1. コミュニティスクールとしての基本理念

－ 地域の中で、みんなで生き生きと学ぶ川崎っ子の育成 －

2. めざす学校像

ふれあいを通して人と人がつながり、学びにあふれる学校

- 保護者・地域と情報共有しながら協働し、大人も子どももつながる
- 豊かな学び・確かな学びが実感できる、笑顔あふれる教育活動を創造する

3. めざす学校像実現に向けた重点目標

(1) 保護者・地域との連携・協働で、特色ある教育活動と安心安全な学校づくりを進めます。

- 学校運営協議会を中心に、保護者や地域に開かれた学校運営
- 家庭での望ましい学習習慣と生活習慣の確立 ○学校だより等情報の積極的な発信
- 保護者、地域との協働による教育環境の整備

(2) 自分と仲間を大切にできる心と実践力を育む教育を進めます。

- 学校全体での組織的な生活指導体制の確立 ○いじめを生まない学校づくり
- 児童・保護者との信頼関係を基盤とした児童理解・支援の充実
- 自らの生き方や人とともに生きる意義を学ぶ学習
- 自治活動・奉仕活動・芸術活動の充実による自己有用（肯定）感の向上
- 保健指導・健康教育（眠育による生活習慣改善）・食育等の充実

(3) 学びの基礎を充実し、誰もがわかる主体的で対話的な授業へ改善を進めます。

- 「川小版学びのスタイル」を柱とした授業規律
- 児童の居場所がある学級経営、児童と児童をつなぐ仲間づくり
- 主体的で対話的な授業への改善 ○全校体制での学力調査等の活用
- 指導機会の工夫による基礎学力の定着

(4) 教職員が子どもたちの教育実践に力を発揮できる環境づくりを進めます。

- 「明るく、仲良く、元気よく」校務に取り組む職場風土
- 総勤務時間の縮減、教職員の過重労働による健康障害防止
- 教職員が互いに学びあえる研修の推進
- 法令遵守意識の向上、ハラスメントの防止



めざす川崎っ子像

- ①「川崎小学校十か条」を実行する子
- ②自ら進んで学習し、思いを伝え合える子
- ③違いを認め、受け入れる子
- ④心身共に健康で、命を大切にできる子
- ⑤家族、地域を大切にする子

☆やさしく、かしこく、たくましく☆

めざす教職員像

- ①児童理解に努め、自らの専門性と指導力の向上に励む教職員
- ②創造的な発想と多くの対話で、教育課題に積極的に取り組む教職員
- ③開かれた学校づくりのため、保護者や地域との連携を深める教職員

☆明るく、仲良く、元気よく

主な評価項目	今年度の取組と成果	課題と今後の改善策
<p>社会に関わ れた 教育課程</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会を通じた地域との協働により、地域の歴史文化人材に学ぶ「地域関連学習」を各学年で実践できた。充実した体験活動の場が設定できたため、総合的な学習のねらい「自ら課題を見出し、考え、活用する力」の育成や、教科学習の理解を深め横断的な課題に対応する力が育まれている。併せて児童自身が認める地域参画意識が向上した。*全国学テ調査(川小84.4%全国62.7%) ・学習(指導補助・英語)、図書、環境ボランティアやフレンドリークラブの外部指導に多くの参加を得ることができた。 ・新校舎の「ふれあい活動室、フレンドリー農園」を中心とした共用ゾーン活用推進会議を立ち上げ、新たな地域協働活動への議論協議をはじめることができた。時代を担う子どもたちを多くの主体が地域に生まれ育むために、「川崎の教育」へ参画する主体者の拡大を目指す。 ・自治会連合会、PTAの協力を得て校舎建築第二期工事の完成に伴う引越を学校家庭地域の共同作業で実施できた。(平成30年10月14日、参加370名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校家庭地域それぞれが教育の主体であるとの認識や社会に開かれた教育課程の必要性が川崎の地に深まっている。校舎建築に伴って多くの議論が、人と人が顔を合わせる場で生まれてきたことからの成果と考える。 ・校舎が完成した今後、学校地域家庭が目への課題も将来への展望も共有し、一緒に一歩を踏み出す活動を発展させていかねばならない。その使命を学校が中心となって果たしていくように「地域とともにある学校」をくろぼくふれあい活動にて実現したい。 ・地域への発信をさらに向上させていく。特に運動会、サ談会、川崎ふれあいフェス等の場で、児童の発表を充実させ、学習の成果が認め認められる場としていく。
<p>危機管理 保健安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新校舎の完成に伴い、危機管理マニュアル、学校安全計画の見直しを行った。地域の防災拠点としての活用を想定し、地域への学校施設の周知を兼ねた内覧会やその他の公開機会を数多く持つことができた。 ・川崎駐在員や地域と連携した交安教室、避難訓練、引き渡し訓練、防犯・薬乱防止教室を開催できた。 ・「眠育」を中心に据えた保健教育を実施した。養護教諭から児童への授業指導の他、学校運営協議会およびPTA開催の講演会の場で、保護者地域への啓発を行った。睡眠の面からテレビ視聴やスマホ使用の弊害の理解が進み、生活習慣改善へ多くの賛同の声を得た。 ・大阪北部地震の災害から校区内のブロック塀点検、危険個所確認をPTA活動で実施。実態の把握とともに安全意識の向上が図られた。より安全な通学経路へ変更が2か所行われることに繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校安全にとどまらず、地域全体の安全を向上させるため、また、危機発生時に迅速な対応行動ができるように、より多くの主体と連携協働を図っていく必要がある。子どもの安全を守る会を通じて、その実現を図る。 ・様々な状況下で子ども自らが判断し実行できる交安、防犯、防災訓練へと取組をさらに強化する。 ・ネットにつながる社会、SNS等の負の面(危険)が大人にも、子どもにも影響している。地域ぐるみで大人保護者が範を示す行動運動を学校発信PTA発信で取り組む。
<p>生徒指導 進路指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童理解のために、年2回のQU調査(学校生活満足度調査)を実施し全校で結果分析と改善手立ての考察を行った。孤立やいじめ等で悩みを持つ児童の早期把握や未然防止の取り組みとして。 ・川崎駐在、校区の小中連携で問題行動や触法行為への初期対応に迅速かつ的確な行動をとることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待や不登校といった課題に対応するため、地域家庭学校のさらなる連携を図っていく。個人情報に配慮した「子どもの理解を深める委員会」での議論内容の共有をいかに関係者間で図っていくかを検討していく。

主な評価項目	今年度の取組と成果	課題と今後の改善策
生徒指導 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・SST(ソーシャルスキルトレーニング)を活用した学級づくりや子どもの絆づくりに全校で取り組んだ。 ・「子どもの理解を深める委員会」を定期開催。特別支援と生徒指導の統合で体制の強化を図ってきた。情報が密に共有され、迅速な初動対応に繋がっている。 ・児童会から、あいさつ運動や集会での委員会発表など自治向上の提案が数多くなされた。 (保護者アンケート「自他大切に作る心の育成」98%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境に不備が認められる家庭の支援体制を関係者との連携強化で向上させる。 ・児童会の自治活動、PTA の生活習慣チェック等で、スマホ使用による弊害の啓発や防止活動を向上させる。 ・地域の方と協力し、あいさつや人と人の交流に力を入れる。
学習指導 外国語教育	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度も「川崎小学びのスタイル」により全校で統一した授業づくりを進めてきた。新校舎への引越しを終えた10月中旬以降は掲示物や図書など学びの環境を整備してきた。「多目的教室」「内の広場」を利用した体験活動や成果発表に新たな取組が生まれた。 ・外国語授業「4 約束、6アクション」が効果的であった。外国語を学ぶ川崎小児童全体に英語コミュニケーションへの抵抗は低い。会話活動や英語を学ぶ環境整備が教職員の研究で数多く実践された成果と考える。ここにも新校舎の機能が活かされている。 ・県の研究指定事業「英語教育推進加速事業」を受けた公開授業研究を実施。参加者より児童の様子、指導内容、研究体制、学校環境に高い評価を得た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の考えの変化や学びの過程が表れる授業に改善の重点を置く。「議論する場」が位置づくように具体的な改善方策に教員全体で取り組む。 ・外国語の指導内容を確実に引継ぎ、指導者の交代異動で混乱が生じないよう万全の準備で4月を迎える。 ・学習規律の指導や学びの基礎となる「誰もが安心して学び合える学習集団」づくりに、教員間の差が生じている実態がある。教職員の学び合いや研究活動、管理職の積極的な関りでそれらの解消充実を図っていく。
学力向上 少人数指導	<ul style="list-style-type: none"> ・全国調査等での採点分析は教職員全員で行い、課題の共有と改善ポイントの焦点化を図った。弱みのある学習課題の克服へ、県市が作成した学習プリントを実施形態の工夫を加えて効率よく活用することができた。 (みえスタ②正答率:国+9.0%算数 8.1% * 県比 2/23) ・習熟別授業 3456 年生で実施。10 月以降新校舎少人数教室で課題別も対応。(きめ細かい授業評価 93.0%) ・学びの定着のために、「家庭学習の手引き」を配布し保護者と連携した家庭学習の向上を図った。ぐんぐんタイム(月曜6限)、サマースクール(夏季休業)による補充学習を実施した。(授業が分かる 92.37%)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も調査の採点分析を全員で実施。課題の共有と改善に全校体制で取り組む(継続)。 ・学級増の状況で、少人数や習熟度別授業をいかに実現するか検討していく必要がある。内容課題を絞った効果的な実践方法を創出する。 ・家庭学習をさらに向上させる。(平日宿題以外家で勉強をしない 38.5%)
人権教育 道徳教育 特別支援教育 情報教育 食育 等	<ul style="list-style-type: none"> ・人権カリキュラムを見直し、人権教材「みんなのひろば」や道徳教材の活用を推進した。道徳は年間計画に沿った指導を実践できた。道徳指導に関する研修会、授業研究、評価に関する研修会と3回の研究討議を行った。 ・特別支援学級、通級児童、外国人児童に関する「指導計画支援計画」を全て作成、保護者との共有を図った。 ・英語教材に関するタブレット環境の整備、共有教材のサーバー管理が進み、情報機器の活用頻度が高まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権カリキュラムは6年間を見据えた系統的なものにさらなる改善を図る。 ・川崎小の道徳スタイル確立を進める。 ・支援を要する児童について、保護者や関係機関と認識共有を図り、確実な引継ぎを行い、支援内容向上を図る。 ・プログラミング教育についての研修を実施し、新学習要領の指導に備える。

主な評価項目	今年度の取組と成果	課題と今後の改善策
人権教育 道徳教育 特別支援教育 情報教育 食育 等	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに「内の広場」を活用したホールランチを実施。給食を題材に食育指導と食の楽しさを児童に提供できた。 ・昨年に続きNHK音楽コンクールに出場（銀賞獲得）、後半には新校舎を活用し音楽授業以外に「歌を楽しむ」児童集団を結成、学習機会を増やすことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育を通じ、児童の食習慣改善の家庭啓発を進める。全児童のアレルギー対応の徹底を今後も図っていく。 ・豊かな情操を養う機会を更に増やしコンクール等での成果を目指す。
総勤務時間の縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりにて職員の勤務状況の実態や課題を発信した(3回)。勤務時間内の学校連絡や行事参加などに地域保護者の協力を得た。 ・校内安全推進委員会を定期に開催し、勤務時間と職務環境の管理安全活動を充実させた。職員同士が互いの仕事を理解し支え合う職場意識が醸成されている。 ・会議の精選と効率化、定時退校日の設定、変形労働の適用拡大などにより、時間外勤務時間が減少している。(目標値:月平均—5時間を継続中 ~1月末) ・ストレスチェックの結果が向上した。職場全体の支え合いのポイントが高く出ており「明るく仲良く元気よく」を目指す職場風土づくりが根付いてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の取組を継続し、成果が見られた時間外勤務の縮減をさらに進めるため、行事や日課の見直しを図る。 ・職員相互の関りや同僚管理職の支援がさらに向上するよう「風通しの良い職場」風土を今後もめざす。 ・職員の休暇取得状況の改善は継続した課題。年次休暇や特別休暇の取得を高めるとともに、週休日や休日が完全な休息日となるような環境改善がすべての教育組織に必要。

【1】 保護・地域との強い連携により、(開かれた) 特色ある教育活動と安心安全な学校づくりを進めます。〔地域連携、学校参画、地域学習、生活習慣、交通安全、防災防犯 等〕

	行動計画	取り組み状況	今後の方針・課題
1	<p>学校運営協議会を中心に、保護者や地域に開かれた学校運営に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域の核となる学校づくり」「学校を核とした地域づくり」推進(学校運営協議会行事を含む) ・地域の歴史・文化・人材を活用した学習(地域学習・フレンドリークラブ) ・地域と連携した交通安全、防災、防犯訓練の実施 	<p>運動会(6/16)実施 川崎ふれあいフェスタ(11/24実施) 防犯教室(7/3実施) 交通安全教室(6/27,11/13実施) 地域関連学習 11回実施(1学期3回,2学期5回,3学期3回実施) フレンドリークラブ 6/6,7/4,10/3,11/7,12/5,2/6全6回実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会やPTAと協働を図りながら、地域の人的資源や文化施設を地域関連学習や体験活動に活かしていく。 ・地域学習については内容時期を検討していく。 ・フレンドリークラブのグラウンドゴルフは運動場完成後再開。
2	<p>家庭での望ましい学習習慣と生活習慣の確立をすすめます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携共同による家庭学習時間の増加 ・家庭での生活習慣改善チェックシートの活用 ・学習の手引きの活用 ・テレビ、ゲーム、スマホ等の適切な使用と使用時間短縮 	<p>生活チェックシート(5月11月実施) 新一年生に学習の手引き配付 学習の手引きリーフレット作成全児童配付</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活チェックシートは年2回に変更 ・児童会からの発信について、集会の活用を検討。
3	<p>学校情報を積極的に発信します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土曜授業を中心とした授業公開日を設定 ・学校行事、地域の行事を公開 ・学校だより、通信等で情報発信 ・学校ホームページの定期的な更新 	<p>土曜授業(5/19,11/17,2/16実施) 授業参観(4/20,9/21実施) 学校だより13号発行(*1月末)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校からの情報発信にさらに努める。 ・月1回は各学年のHP更新を行う。
4	<p>保護者、地域とともに教育環境の整備をすすめます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎移転作業の安全確保、整備 ・校舎建築中の安全確保 ・全職員で危機管理マニュアル学習会を実施 	<p>引っ越し(10/14) 工事定例会71~102回計31回 危機管理マニュアル学習会5/30 避難経路確認(6/29実施)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎完成後の各場所の使い方について検討を続ける。

【2】 自分と仲間を大切に作る心と実践力を育む教育を進めます。

〔生徒指導、道徳教育、特別支援、情操・共生・環境・人権、食育、保健健康 等〕

	行動計画	取り組み状況	今後の方針・課題
1	<p>学校全体での組織的な生活指導体制を確立します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの理解を深める委員会の定期開催 ・学級づくりについての研修実施 	<p>子どもの理解を深める委員会 4/23,5/25,6/25,9/25 11/7,12/4,1/10,2/12 実施 学級づくりについて全体研修会 (5/23 7/25 実施)</p>	
2	<p>いじめを生まない、学校づくりに努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども理解を深める委員会 ・いじめ未然防止のための情報を共有 ・いじめを生まない学校の研修実施 	<p>5月、9月にいじめアンケートを実施し個別に対応。 心のポスト設置・対応</p>	<p>いじめアンケートを3学期にも実施する</p>
3	<p>児童・保護者との信頼関係を基盤とした児童理解・支援の充実をはかります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの理解を深める委員会 ・毎日の健康観察、児童観察の徹底 ・毎日管理職と担当がミーティングを持つ ・診断調査等の活用（QU等） ・不登校、いじめ防止の情報共有 ・個別の指導支援計画作成と見直し 	<p>子どもの理解を深める委員会月1回開催 児童観察ミーティング実施 個別の支援計画見直し（5月） 個別の指導計画見直し（6月12月2月）</p>	<p>来年度も月1回開催。情報共有、今後の指導支援について検討が必要な児童を中心にっていく。</p>
4	<p>自らの生き方や人とともに生きる意義を学ぶ学習の場を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級学年の自治活動を設定 ・ペア学年活動の充実 ・人権集会等ブロック別の活動の充実 	<p>児童集会 (9/26 2/16 実施) 人権集会 (12～1月に実施) 人権教育年間計画表見直し</p>	<p>より多くの委員会が発表できるようにする。</p>
5	<p>自治活動・奉仕活動・芸術活動の充実による自己有用（肯定）感の向上に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会を中心とする挨拶運動実施 ・花いっぱい運動・一人一鉢運動実施 ・文化芸術に触れる機会の設定 	<p>地域花いっぱい運動 鉢花の配布（9月） 児童会あいさつ運動（7月） NHK合唱コンクールへの出場 8/5 和太鼓鑑賞 10/23</p>	<p>文化芸術 可能な限りたくさんの機会を設定していく。</p>
6	<p>保健指導・健康教育・眠育による生活習慣改善、食育等の充実をはかります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校保健委員会の開催 ・薬物乱用防止教室（6年）を実施 ・睡眠に係る教育、食教育の充実 	<p>学校保健委員会(11/29 実施) 眠育について 9/21 教育懇談会にてミニ講演実施 6年薬物乱用防止教室(11/29 実施) 食教育の授業を各クラス順次実施 ホールランチ実施</p>	<p>低学年に眠育を行う機会を増やす。 ホールランチの実施時期を検討する。</p>

【3】 学びの基礎づくりを充実し、誰もがわかる主体的で対話的な授業への改善を進めます。
〔学力保障、学級（仲間）づくり、児童理解、生徒指導、授業改善 等〕

	行動計画	取り組み状況	今後の方針・課題
1	<p>川崎小の「学びに関するスタイル」を柱とした授業づくりを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「川崎小学習規律」に基づく実践の推進（みる、きく、はなす、かんがえる、おもう、じゅんびする、かたづける）＊「学び」に必要な行動のために 「聴く尋ねる」「語彙の獲得」「ふりかえり」等に重点を置いた指導場面の設定 	<p>全体研修で児童の現状や課題について分析し今後の取り組みを決定した。</p> <p>定期的に掲示板に児童のノート提示 書く活動と合わせて授業実践提案中</p>	<p>現在「仲間づくり」と「書く」「読む」活動を重点として取り組み継続。</p>
2	<p>児童の居場所がある学級経営、児童と児童をつなぐ仲間づくりを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 視点児童を設定した授業公開の実施と授業検証 外部講師を招聘した研修会の実施 QU調査、SST、SGE等を活用した学級づくりの充実 	<p>QU実施 （1回目5月,2回目10月）</p> <p>QU研修会5/23実施</p> <p>SST強化週間実施 （1月2月）</p>	<p>SSTは期間を決めて計画的に行う。</p>
3	<p>主体的で対話的な授業への改善を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業3活動（＝見通しを持つ活動言語活動、学びをふりかえる活動）の研究を中心として授業改善 	<p>全体研修会18回実施</p> <p>授 業 研 （6/23,11/25,2/13実施）</p> <p>ブロック研随時実施</p>	
4	<p>全校体制での学力調査等の活用に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力調査等の実施、分析、活用 児童の学校アンケート等の実施 課題の共有と改善への組織的で全校的な取組 	<p>採点、研修会等で分析し課題共有</p> <p>学力向上推進計画の策定し8月に見直し</p> <p>学校アンケート 12月末実施</p>	
5	<p>指導法と指導機会の工夫による基礎学力の定着に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補充学習「ぐんぐんタイム」等を用いた学年に応じた基礎学力の定着 朝の学習の実施 サマースクールの実施 自主学習や学びの紹介の場を設定 	<p>補充学習「ぐんぐんタイム」 （5/28,6/25,7/9,10/29 11/19,12/10,1/28,2/25実施）</p> <p>朝の学習実施</p> <p>サマースクール実施 （7/23～7/27 5日間）</p>	

【4】 教職員が子どもたちの教育実践に力を発揮できる環境づくりを進めます。

〔労働安全、勤務状況改善、職場環境整備、同僚性の向上、人材育成 等〕

	行動計画	取り組み状況	今後の方針・課題
1	<p>「明るく、仲良く、元気よく」校務に取り組む職場風土をつくります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校務の分担、仕事内容の分かち合いを図る ・職場内厚生事業実施 <p>*明るく＝可能性（子ども、同僚）を信じ、悲観することなく</p> <p>*仲良く＝孤立を生まず、全員掛かりで</p> <p>*元気よく＝心身健康で、能動的に</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生委員会は年4回開催 ・定時退校日は月2回設定 ・時間外 昨年比－5時間の目標達成（～1月末） ・<u>変形労働の摘要業務の拡大</u> ・休暇取得の促進呼びかけ ・土曜授業の同一週振替 11名 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生委員会の充実 ・定時退校日の設定工夫 ・時間外縮減を今後も継続して行えるようにする。 ・土曜授業の同一週振替をさらにとれるようにしていく。
2	<p>総勤務時間の縮減、教職員の過重労働による健康障害防止に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生委員会の開催 ・定時退校日を毎月2回以上設定 ・年休取得の向上 ・土曜授業振替の同一週取得推進との振替の完全取得 	<ul style="list-style-type: none"> ・2部会で業務の進捗確認と分担 ・2部会開催後の職員作業 ・研修旅行、運動流 ・<u>「やるぞ！2学期CとC」</u>の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署で仕事を分担して取り組むことができた。 ・研修旅行や運動を通して交流することができた。 ・自分たちの目標を決め、それに向けて取り組むことが必要 以上を次年度も継続
3	<p>教職員が互いに学び合える研修を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の業務遂行力向上を目指したOJT実施 ・自主研修への参加と還流報告による共有を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・復命回覧にて研修会参加の還流報告 ・労働安全に関する研修会（ハッピ－胃腸内科クリニック：豊田美香医師）次年度に延期 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主研修・還流の報告を研修会や回覧等で行っているが、今後研修会で。
4	<p>法令順守の意識の向上、ハラスメントの防止に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議での事例配付と説明 ・日常的な声かけによる未然防止 ・危機管理マニュアルの学習会を開催 ・ハラスメント防止研修会を開催、相談窓口を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営に関する注力点は校長から文書で周知、意思の共有と確認を行った。 ・事項書の事前配布 ・会議は定時までには終了 ・服務規律は職員会議等で校長より指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議や研修会で意思図の共有と確認を図っていく。 ・危機管理マニュアルの見直しや学習会に継続して取り組む。

★H30児童アンケート 集計結果

1	【設問】	1				標本数
	【内容】	1毎日おなじくらいの時刻に				442
	回答選択肢	割合	実人数	区分	割合	実人数
	A:寝ている	28.3%	125	肯定評価	79.0%	349
	B:だいたい寝ている	50.7%	224			
	C:あまり寝ていない	13.6%	60	否定評価	21.0%	93
	D:寝ていない	7.5%	33			
	無回答	0.0%	0			

2	【設問】	2				標本数
	【内容】	2平日、宿題の他に家での勉強は				442
	回答選択肢	割合	実人数	区分	割合	実人数
	A:1時間以上	13.1%	58	肯定評価	30.1%	133
	B:1時間未満	17.0%	75			
	C:30分以内	31.4%	139	否定評価	69.9%	309
	D:ほとんどしていない	38.5%	170			
	無回答	0.0%	0			

3	【設問】	3				標本数
	【内容】	3-1平日テレビを見たりゲームをしたりする時間は				441
	回答選択肢	割合	実人数	区分	割合	実人数
	A:1時間以内	35.6%	157	肯定評価	66.4%	293
	B:2時間以内	30.8%	136			
	C:3時間以内	15.4%	68	否定評価	33.6%	148
	D:3時間を超える	18.1%	80			
	無回答	0.2%	1			

4	【設問】	4				標本数
	【内容】	3-2テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と				441
	回答選択肢	割合	実人数	区分	割合	実人数
	A:決めている	64.2%	283	肯定評価	64.9%	286
	B:	0.7%	3			
	C:決めていない	34.9%	154	否定評価	35.1%	155
	D:	0.2%	1			
	無回答	0.2%	1			

5	【設問】	5				標本数
	【内容】	4朝ごはんは毎日				442
	回答選択肢	割合	実人数	区分	割合	実人数
	A:だべる	78.7%	348	肯定評価	93.2%	412
	B:だいたいたべる	14.5%	64			
	C:あまりたべない	5.2%	23	否定評価	6.8%	30
	D:たべない	1.6%	7			
	無回答	0.0%	0			

6

【設問】	6	標本数			
【内容】	5学校に行くのは	標本数	442		
回答選択肢	割合	実人数	区分	割合	実人数
A:たのしい	50.5%	223	肯定評価	89.4%	395
B:まあまあたのしい	38.9%	172			
C:あまりたのしくない	6.8%	30	否定評価	10.6%	47
D:たのしくない	3.8%	17			
無回答	0.0%	0			

7

【設問】	7	標本数			
【内容】	6-1学校の行事は	標本数	442		
回答選択肢	割合	実人数	区分	割合	実人数
A:たのしい	70.6%	312	肯定評価	94.6%	418
B:まあまあたのしい	24.0%	106			
C:あまりたのしくない	4.3%	19	否定評価	5.4%	24
D:たのしくない	1.1%	5			
無回答	0.0%	0			

8

【設問】	8	標本数			
【内容】	6-2フレンドリークラブは(4年生以上が答える)	標本数	205		
回答選択肢	割合	実人数	区分	割合	実人数
A:たのしい	63.9%	131	肯定評価	95.1%	195
B:まあまあたのしい	31.2%	64			
C:あまりたのしくない	4.9%	10	否定評価	4.9%	10
D:たのしくない	0.0%	0			
無回答	114.6%	235			

9

【設問】	9	標本数			
【内容】	7登下校や学校の中であいさつが	標本数	442		
回答選択肢	割合	実人数	区分	割合	実人数
A:できた	43.4%	192	肯定評価	82.6%	365
B:まあまあできた	39.1%	173			
C:あまりできなかった	14.0%	62	否定評価	17.4%	77
D:できなかった	3.4%	15			
無回答	0.0%	0			

10

【設問】	10	標本数			
【内容】	8正しい言葉づかいが	標本数	442		
回答選択肢	割合	実人数	区分	割合	実人数
A:できた	40.5%	179	肯定評価	87.8%	388
B:まあまあできた	47.3%	209			
C:あまりできなかった	9.5%	42	否定評価	12.2%	54
D:できなかった	2.7%	12			
無回答	0.0%	0			

11

【設問】	11					標本数
【内容】	9掃除や当番や係の仕事がきちんと					442
回答選択肢	割合	実人数	区分	割合	実人数	
A:できた	55.7%	246	肯定評価	91.6%	405	
B:まあまあできた	36.0%	159				
C:あまりできなかった	7.9%	35	否定評価	8.4%	37	
D:できなかった	0.5%	2				
無回答	0.0%	0				

12

【設問】	12					標本数
【内容】	10自分にはよいところがあると					442
回答選択肢	割合	実人数	区分	割合	実人数	
A:思う	33.5%	148	肯定評価	73.3%	324	
B:まあまあ思う	39.8%	176				
C:あまり思わない	17.9%	79	否定評価	26.7%	118	
D:思わない	8.8%	39				
無回答	0.0%	0				

13

【設問】	13					標本数
【内容】	11お家の人や先生、友達はあなたのよいところを認めてくれていると					442
回答選択肢	割合	実人数	区分	割合	実人数	
A:思う	36.2%	160	肯定評価	79.0%	349	
B:まあまあ思う	42.8%	189				
C:あまり思わない	14.5%	64	否定評価	21.0%	93	
D:思わない	6.6%	29				
無回答	0.0%	0				

14

【設問】	14					標本数
【内容】	12人が困っているときは、進んで助けることが					442
回答選択肢	割合	実人数	区分	割合	実人数	
A:できた	39.1%	173	肯定評価	83.3%	368	
B:だいたいできた	44.1%	195				
C:あまりできなかった	13.8%	61	否定評価	16.7%	74	
D:できなかった	2.9%	13				
無回答	0.0%	0				

15

【設問】	15					標本数
【内容】	13いじめは、どんな理由があってもいけないと					441
回答選択肢	割合	実人数	区分	割合	実人数	
A:思う	85.7%	378	肯定評価	98.0%	432	
B:まあまあ思う	12.2%	54				
C:あまり思わない	0.9%	4	否定評価	2.0%	9	
D:思わない	1.1%	5				
無回答	0.2%	1				

16

【設問】	16					標本数
【内容】	14地域の行事に					442
回答選択肢		割合	実人数	区分	割合	実人数
A:参加している		45.5%	201	肯定評価		327
B:だいたい参加している		28.5%	126			
C:あまり参加していない		15.8%	70	否定評価		115
D:参加していない		10.2%	45			
無回答		0.0%	0			

17

【設問】	17					標本数
【内容】	15-1清掃奉仕や祭りや集いなどに参加するなど地域のボランティア活動に貢					442
回答選択肢		割合	実人数	区分	割合	実人数
A:している		36.2%	160	肯定評価		283
B:だいたいしている		27.8%	123			
C:あまりしていない		16.1%	71	否定評価		159
D:していない		19.9%	88			
無回答		0.0%	0			

18

【設問】	18					標本数
【内容】	15-2将来地域のために役立つ人になりたいと(3年生以上が答える)					283
回答選択肢		割合	実人数	区分	割合	実人数
A:思う		36.7%	104	肯定評価		220
B:どちらかというと思う		41.0%	116			
C:どちらかといえば思わ		14.5%	41	否定評価		63
D:思わない		7.8%	22			
無回答		55.8%	158			

19

【設問】	19					標本数
【内容】	16学校の授業は					442
回答選択肢		割合	実人数	区分	割合	実人数
A:わかる		42.1%	186	肯定評価		408
B:だいたいわかる		50.2%	222			
C:あまりわからない		6.6%	29	否定評価		34
D:わからない		1.1%	5			
無回答		0.0%	0			

20

【設問】	20					標本数
【内容】	17校外の人やモノに出会う勉強は					442
回答選択肢		割合	実人数	区分	割合	実人数
A:たのしい		66.7%	295	肯定評価		407
B:まあまあたのしい		25.3%	112			
C:あまりたのしくない		6.8%	30	否定評価		35
D:たのしくない		1.1%	5			
無回答		0.0%	0			

21

【設問】	21					標本数
【内容】	18分ならないときに「分からない」と					442
回答選択肢	割合	実人数	区分	割合	実人数	
A: いえる		41.0%	181	肯定評価		77.1%
B: だいたい いえる		36.2%	160			
C: あまり いえない		16.3%	72	否定評価		22.9%
D: いえない		6.6%	29			
無回答		0.0%	0			

22

【設問】	22					標本数
【内容】	19自分の考えをしっかりと伝えることが					442
回答選択肢	割合	実人数	区分	割合	実人数	
A: できた		33.0%	146	肯定評価		75.8%
B: だいたい できた		42.8%	189			
C: あまり できなかった		19.0%	84	否定評価		24.2%
D: できなかった		5.2%	23			
無回答		0.0%	0			

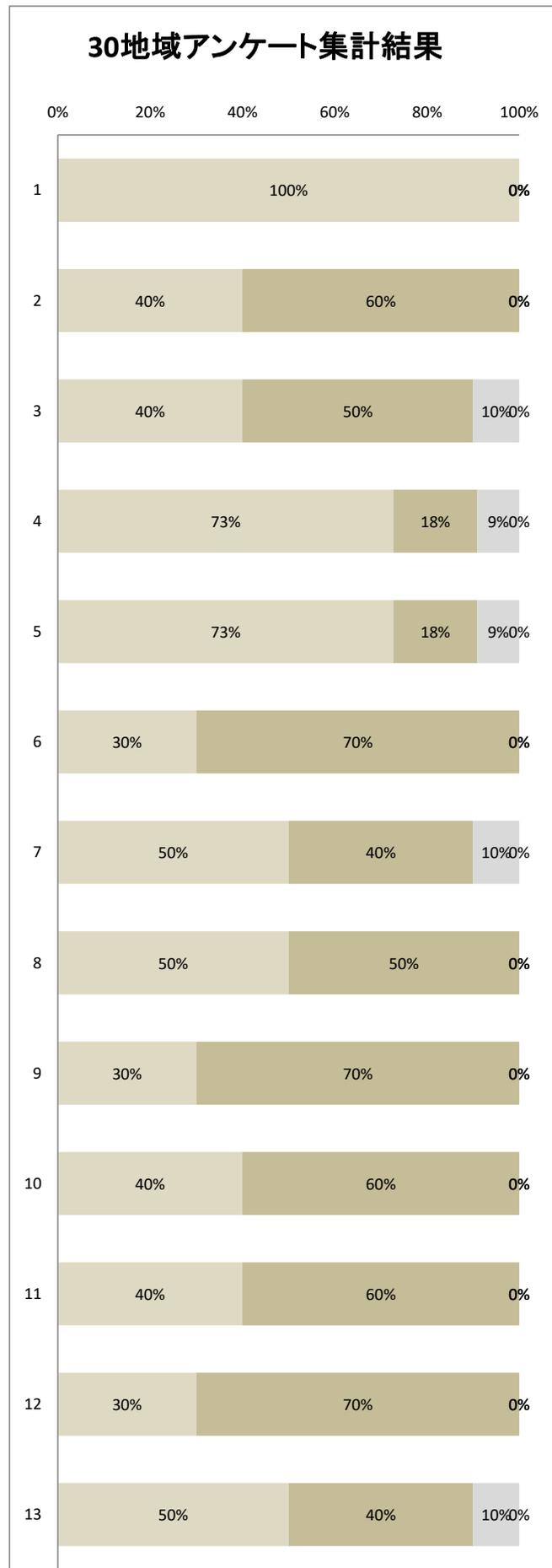
23

【設問】	23					標本数
【内容】	20先生や友だちの話をしっかりと					442
回答選択肢	割合	実人数	区分	割合	実人数	
A: きけた		49.5%	219	肯定評価		88.9%
B: だいたい きけた		39.4%	174			
C: あまり きけなかった		10.0%	44	否定評価		11.1%
D: きけなかった		1.1%	5			
無回答		0.0%	0			

24

【設問】	24					標本数
【内容】	21自分の意見や考えをしっかりと書くことが					442
回答選択肢	割合	実人数	区分	割合	実人数	
A: できた		51.1%	226	肯定評価		87.8%
B: だいたい できた		36.7%	162			
C: あまり できなかった		8.8%	39	否定評価		12.2%
D: できなかった		3.4%	15			
無回答		0.0%	0			

★H30学校評価アンケート (地域 関係者)		評価 該当するところに○			
番号	設問	4 そう 思う	3 おお むね 思う	2 あま り 思わ ない	1 思わ ない
1	学校は、運動会・ふれあいフェスタ等の行事、地域学習・フレンドリークラブ・防犯教室等を通して特色ある学づくりのに努めている。	11	0	0	0
2	学校は、生活習慣チェックシート等に家庭と協力して取り組み、望ましい生活習慣(早寝早起き・朝ごはん・あいさつ・きまりを守る)の育成に努めている。	4	6	0	0
		4	5	1	0
3	学校は、学習の手引きを発行したり、学力学習状況調査の結果を公表したりして、望ましい学習習慣等(家庭学習・読書等)の育成に努めている。	8	2	1	0
		8	2	1	0
4	学校は、土曜授業や学校行事を公開し、地域の方や保護者が児童の活動を参観する機会を適切に設けている。	3	7	0	0
		5	4	1	0
5	学校は、一人ひとりにあつたきめ細かい指導をしたり、いじめのない居心地のよい学校(学級)づくりに努めたりしている。	5	5	0	0
		5	5	0	0
6	学校は、学級・学年の自治活動や人権学習(集会)、ゲストティーチャー等との授業を通して、自分と仲間を大切に育てる心の育成に努めている。	3	7	0	0
		3	7	0	0
7	学校は、健康に関する授業や給食指導を通して、保健指導・健康教育・食育等の充実をはかっている。	4	6	0	0
		4	6	0	0
8	学校は、授業スタイルを決めて、子どもたちが見通しをもてる授業を行い、充実した学習活動を行うよう努めている。	3	7	0	0
		3	7	0	0
9	学校は、授業のめあてやふりかえりもち、わかりやすい授業を行うために授業改善に努めている。	4	6	0	0
		4	6	0	0
10	学校は、児童が主体的に取り組むことができる授業や友達の話の聞いたり自分の考えを伝えたりする対話的な授業づくりに努めている。	5	4	1	0
		5	4	1	0
11	学校は、補充学習の機会(ぐんぐんタイム・サマースクール)や少人数指導等を行い、基礎学力の定着に努めている。	5	4	1	0
		5	4	1	0



★H30学校評価アンケート (保護者)		評価 該当するところに○			
番号	設問	4 そう 思う	3 おお むね 思う	2 あま り 思わ ない	1 思わ ない
1	学校は、運動会・ふれあいフェスタ等の行事、地域学習・フレンドリークラブ・防犯教室等を通して特色ある学づくりりに努めている。	198	95	1	1
2	学校は、生活習慣チェックシート等に家庭と協力して取り組み、望ましい生活習慣(早寝早起き・朝ごはん・あいさつ・きまりを守る)の育成に努めている。	165	121	10	0
3	学校は、学習の手引きを発行したり、学力学習状況調査の結果を公表したりして、望ましい学習習慣等(家庭学習・読書等)の育成に努めている。	148	138	10	1
4	学校は、土曜授業や学校行事を公開し、地域の方や保護者が児童の活動を参観する機会を適切に設けている。	202	90	4	1
5	学校は、日頃の教育活動の様子や指導への協力を学校だよりやホームページに掲載して、学校の情報を積極的に公開している。	137	143	14	2
6	学校は、一人ひとりにあったきめ細かい指導をしたり、いじめのない居心地のよい学校(学級)づくりに努めたりしている。	101	176	18	2
7	学校は、学級・学年の自治活動や人権学習(集会)、ゲストティーチャー等との授業を通して、自分と仲間を大切に育てる心の育成に努めている。	115	174	8	0
8	学校は、児童会によるあいさつ運動・花いっぱい運動、芸術鑑賞の場を設定し、子どもたちの情操を育みながら児童の自己肯定感の向上に努めている。	129	154	14	0
9	学校は、健康に関する授業や給食指導を通して、保健指導・健康教育・食育等の充実をはかっている。	155	131	10	0
10	学校は、授業スタイルを決めて、子どもたちが見通しをもてる授業を行い、充実した学習活動を行うよう努めている。	137	147	13	0
11	学校は、授業のめあてやふりかえりを持ち、わかりやすい授業を行うために授業改善に努めている。	134	147	15	1
12	学校は、児童が主体的に取り組むことができる授業や友達の話の聞いたり自分の考えを伝えたりする対話的な授業づくりに努めている。	130	152	14	1
13	学校は、補充学習の機会(ぐんぐんタイム・サマースクール)や少人数指導等を行い、基礎学力の定着に努めている。	140	148	9	0

